2026年10月26日

令和８年度東京都アニメーション海外進出ステップアッププログラム「セミナーB実施レポート」

10月26日に第2回となるセミナーB「わかる！作品企画のセミナー」を開催いたしました。前半は鮎貝義家氏より、世界のバイヤーを相手にどのように企画を作るか、ピッチをするかについての解説があり、後半は、2026年アヌシー国際アニメーション映画祭にてクリスタル賞を受賞した「The Violinist」の監督、Ervin Han氏より、企画のポイントをお伝えいただきました。オンラインながらも質疑応答まで非常に盛況のセミナーとなりました。

セミナー「わかる！作品企画のセミナー」 講演内容ご紹介

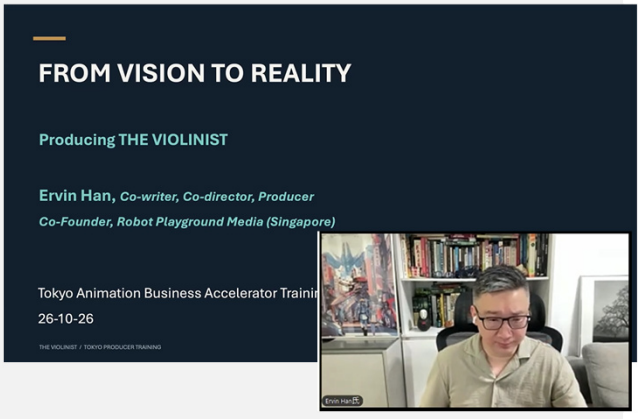
ライター・プロデューサー　鮎貝　義家氏
「世界に届く企画とピッチ～海外向けの企画を考えるためのヒント～」



鮎貝義家氏によるセミナーの様子

- 鮎貝さんからは、近年の子供向け作品を取り巻く環境の変化を捉えた今取り組むべき企画とピッチの考え方について、ご自身の企画や配信会社のバイヤーから得た意見等をもとに整理して、買い手の目線を知りながら企画するポイントを解説をしていただきました。
- その中でも、過去のセミナーで解説いただいたポイントから変わってきていることを比較しながらお伝えいただいた点が印象的で、例えば類似作品やベンチマーク作品はピッチの中で提示するとイメージがわきやすいということがこれまで言われてきましたが、指摘されたときに回答を用意しておき、企画の違いを説明できるようにしておくことが重要だという視点を新たにいただきました。
- また、バイヤーとの連絡の取り方や、担当者が社内で稟議を通しやすくすることを考えたピッチの準備等、実際のビジネスに必要なコツを多く伝授いただきました。

「FROM VISION TO REALITY」
Co-writer/Co-director/Producer, Robot Playground Media Pte Ltd
Ervin Han氏



Ervin Han氏によるセミナーの様子

- 今回が国際共同制作の初挑戦作品となった「The Violinist」について、シンガポールのアニメーション市場の特徴等も踏まえて、どのような経緯で本作品に取り組んだのか、歴史的背景や文化に関わるストーリーをどのように、海外のバイヤーに伝えるか等を意識されたことについて教えていただきました。
- 特に国際共同制作で求められる作品がキッズ向けの作品である中で、歴史や文化を題材にした大人向けの作品はピッチが非常に難しく、スタジオの強みやこれまでの実績、連携するスタジオとの分担、エージェントとの仕事の進め方や、海外の助成金での資金調達等を検討してチャンスを得ることが重要とのことでした。
- 監督にとって大事な視点として、その映画の存在価値の理解、協働できるパートナーの探索、国際共同制作の複雑さへの理解、物語の核を失わずに柔軟性を保つこと、観客を集める計画を立てておくことが大事とのまとめをいただきました。